

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

9月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

くまもとメディカルネットワークでの情報提供書取扱いを開始しました!

熊本県内の医療機関、薬局、介護施設、訪問看護ステーション等で情報を共有する「くまもとメディカルネットワーク」(以下「KMN」という。)について、当センターでは2019年度から本格運用しておりますが、令和3年7月から文書送受信機能、及び救急搬送モードの運用を始めました。これらの機能はKMN事務局からコロナ禍の活用事例として案内されています(右図)。

KMNで受信した文書については、原則として平日9時に確認し、印刷して診療科に配布することとしておりますが、お急ぎの場合は連携室に電話をいただければすぐに対応いたします(対応時間:平日8時30分から17時15分)。放射線画像(DICOM)が添付されていた場合は必要に応じて院内PACSに取り込みを行います。KMNの文書送信については、前もって運用状況を電話で確認し、運用中であればKMNを使用しますが、未運用であればこれまで通り郵送いたします。また、救急搬送モード中のみではありますが、KMNに登録済みの患者さんの診療情報については、自院の個別同意を要さずにすぐに

KMNを用いた情報提供書・画像送受信実績
(令和3年7月、8月)

熊本大学病院: 8件
人吉総合医療センター: 1件
荒尾市民病院: 3件

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

コロナ禍における「文章送受信」の活用

～書類等の持参物による二次感染リスクの予防～

診療情報提供書等のPDF添付
画像データ等 が送信可能

原則、KMN参加者で自院ID患者番号が必要だが、患者氏名のみでも送信可能。

コロナ禍における「診療情報ビューア」の活用



▲KMN 内資料「コロナ禍における KMN 活用」より

参照可能になりました。

コロナ禍において、書類を介さない迅速な情報共有手段としてKMNが期待されますが、活用のためには患者さんのご理解とご協力が不可欠です。地域医療連携を更に強化できるよう、市民へのKMN周知活動などに取り組んで参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

(文責: 医療情報管理室 安永)

CONTENTS

くまもとメディカルネットワーク	P 1
部門紹介 (放射線科)	P 2
医療最前線	P 3
外来担当医表(9月)	P 4

放射線科の紹介をさせていただきます。

現在、当院の放射線科は放射線科医1名、診療放射線技師5名、事務員1名が所属しており、被曝低減と診断能の高い画像の提供を常に念頭に置いて日々の業務にあたっております。

当院が保有するモダリティは1.5T MRI装置1台、64列CT装置1台、血管造影装置1台、透視装置1台、一般撮影装置（FPD）2台、乳房用X線撮影装置1台、骨密度測定装置1台、ポータブル撮影装置1台、外科用イメージ2台にて運用を行っております。

2020年3月に骨密度測定装置（GEヘルスケア社製のPRODIGY Fuga-C）、2021年3月には乳房用X線撮影装置（キャノンメディカルシステムズ社製のPe・ru・ru DIGITAL）を新しく導入いたしました。骨密度装置は、腰椎と大腿骨近位部の2カ所を被検者の体勢を変えずに3、4分程度で測定が可能となり、また2カ所同時測定時のX線入射線量は胸部レントゲンの約1/6程度と被曝低減もできます。



骨密度測定装置

乳房用X線撮影装置は、これまで使用していたCR型の装置に比べ、撮影した画像を3～5秒ほどで確認ができるため、検査時間を大幅に短縮することができます。キャノン独自のシステムで、従来のものよりも圧迫時の痛みの軽減や画質の向上、被曝低減も可能となりました。また、装置の更新に伴い、フィルム診療から高精細（500万画素）

モニタを使用したモニタ診療に変更となりました。微細な病変も確認でき、淡い病変や乳腺と重なった病変も特定しやすく、過去画像との比較も行いやすくなりました。



乳房用X線撮影装置

放射線科の業務に関して、以前までは一般の方にあまり認知されているとはいえませんでした。2019年にドラマが放送されたことで関心を持つ方も増えてきました。前作の評判が良かったということで、今年2021年10月に第2期が放送される予定となっています。世間的にも注目されるようになってきた職種であり、診療において大きなウェイトを占める部門のひとつであると考えています。今後も日々研鑽し、診断能の高い画像の提供を行っていきたく思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（文責：診療放射線技師 江藤 美佳）



医療最前線 (134)



虫垂炎の治療方針(interval appendectomyについて)

外科

原 淑大 先生

虫垂炎は我々が日常診療において遭遇する腹痛の原因として最も多い疾患の1つであり、一般の方でもよく耳にするものであると思います。その名の通り、虫垂が何かしらの原因で炎症を起こす病気であり、一般の方々からは盲腸と呼ばれておりそちらの方が馴染みのある方も多いかもかもしれません。医学的には盲腸は大腸の一部であり、虫垂は盲腸から突出した細長い袋状の臓器でありその役割は免疫や腸内細菌の調整に関わっていると言われています。

虫垂炎の治療としては、以前はごく初期の虫垂炎を除いて、発症すれば基本的には全て手術による治療が行われていました。しかし、近年は抗菌薬治療や腹腔鏡下手術の進歩、また経皮的ドレナージなどにより、いったんは保存的な(手術以外の)治療で改善するのを待ち、落ち着いてから手術を行うinterval appendectomy (IA)という治療方針が選択肢の1つとなっています。

虫垂炎には病期があり、炎症の段階や所見によって大きく3段階に分けられています。

- ①まず、最も初期の段階をカタル性虫垂炎と呼び、炎症も軽度で虫垂の腫れも強くなく、抗生剤での保存的治療適応となります。
- ②次の段階が蜂窩織炎性虫垂炎と呼ばれ、虫垂は腫大し内腔には炎症、感染により膿がたまり始めます。この段階からは手術も検討される状況

となります。

- ③最終段階は壊疽性虫垂炎と呼ばれ、虫垂は著名に腫大していることもあります。炎症、感染が高度になった結果、壊死や穿孔を来すことも多いです。また、炎症が周囲にも波及し虫垂周囲膿瘍を形成したり、腹部全体に広がり汎発性腹膜炎になることもあります。

この3段階のうち、どこからどこまでがIAに適応となるかは判断が難しいところでもありますが、過去の報告や論文では、③に当たる膿瘍形成した虫垂炎に対するIAの成功例も見られます。しかし、やはりすべての症例がうまくいくわけではなく、②の虫垂腫大のみの場合でも抗生剤加療が奏功せず緊急手術になった症例もある程度みられます。また、汎発性腹膜炎や糞石(便が固まったもの)が虫垂に認められる場合は基本的にIAの適応ではなく手術となります。

IAの利点として、緊急手術に比べて手術の難度も改善することができ、合併症を減らせることが挙げられますが、欠点として治療期間が長くなることがあげられます。一般に抗生剤治療で改善後、2-3か月後の手術となります。しかし、症状が改善するのであれば手術が必要なのかという疑問がわくかと思いますが、約3割の症例は虫垂炎が再燃すると報告されており、根本的に解決したい場合は手術が推奨されます。虫垂炎に限らず腹痛の原因は様々ですが、可能な限り患者様の希望に沿った治療を提供していきたいと考えておりますので、お気軽にご連絡いただければ幸いです。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

9月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	富口 純 (上野 茂紀)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※1 中嶋 直也 担当医 (予約のみ)	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 荒木崇土/中原達秀	工藤 智志 荒木 崇土 中原 達秀	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 赤星 慎一 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 (織田 枝里)	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 山村 謙介
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※非常勤医師	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セン タク ー 器	耳鼻咽喉科	—	※非常勤医師	※非常勤医師	—
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
	※片渕美和子(午後) 9/7(火)、9(木)、14(火)、21(火)、28(火)、30(木)				
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	整形外科医	大庭 圭介	消化器科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 上野 茂紀

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。

当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。

※ 非常勤医師です。 ※1 第2、第4水曜日のみ診療となります。

特殊・専門外来

9月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	織田 枝里	毎週 月曜・水曜 (11:00~12:00)	Bブロック
外来化学療法(予約制)	担当医	毎週 火曜・水曜・金曜	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片渕美和子	9/7(火)、9(木)、14(火)、21(火)、28(火)、30(木)	
PEG外来	担当医	毎週 第2・4水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意:学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>